



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第311号

2017年3月20日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

予算案一部修正し予算委で可決

八千代市の2017年度予算案は、予算特別委員会で審議され、10日可決されました。日本共産党は予算原案に反対、修正案に賛成しました。予算案は22日、会期最終日の本会議で採択に付されます。

予算特別委員会での修正は、保育園を増やすために約3億5千万円を増額するもので、全会一致で可決されました。秋葉市長が提出した17年度予算案には、保育園1園の開園予算が計上されていました。しかし、430人もの待機児童が見込まれ、1園では不十分ということから、保育園2園分の予算が追加されたもので、17年度は計3園の開園が見込まれます。



市民の暮らし応援に冷たい予算案

17年度予算案は市民の暮らしに冷たい予算案です。国民健康保険料の滞納者は加入世帯の26%に昇ります。滞納者は高齢者や短期就労者（非正規社員）などに多くみられます。高すぎて払いたくても払えない実態が浮かび上がっています。国の国保支援金1億4千万円を使えば国保料は引き下げられます。それでも市は実施しようとしません。

子どもの貧困化の増大、教育を受ける権利の保障から、全国で学校給食の無償化が広がっています。無償化した自治体は、千葉県の大田喜町を含め62自治体、一部補助を含めると362自治体にのぼっています。しかし、八千代市は予算化にまったく手を付けようとしません。

市民の暮らしを守る予算組み替えを

秋葉市長は市庁舎の耐震化を、耐震改修後に建て替えを検討するという従来の計画を独断で変更し、建て替えに絞ると表明しました。建て替えには105億円かかるとされ、毎年5億円6年間で30億円を積み立てるとしています。新川整備事業費を上回る大規模事業を独断で決めるという市民無視のやり方、財政的には借金財政をさらに悪化させ、市民への負担増は避けられません。

日本共産党は、本会議に「市民の暮らしを守る予算組み替え動議」を提出します。公共施設13か所の耐震診断予算計上、普通教室へエアコン設置調査費、学校給食費補助、子ども医療費の窓口負担ゼロ化、高齢者配食サービスの改善、インフルエンザ予防接種助成金引き上げ、国民健康保険料の引き下げ一などです。これらの財源として、財政調整基金の取り崩しなどで、総額5億3千万円を確保します。